

実用化が進む 部品情報公開システムのご紹介

2007年7月26日
ECALS実用化専門委員会
共通課題WG

- 目 次 -

- ECALSシステムの特長
- ECALSシステムの構成
- 日韓電子部品情報相互検索システム (IOS) の特長
- IOSシステムの構成
- JEITA-Greenの特長
- JEITA-Greenの構成
- ECALS IOS JEITA - Greenの関連
- ECALS共同検索システム利用状況
- JEITA-Green公開システム利用状況

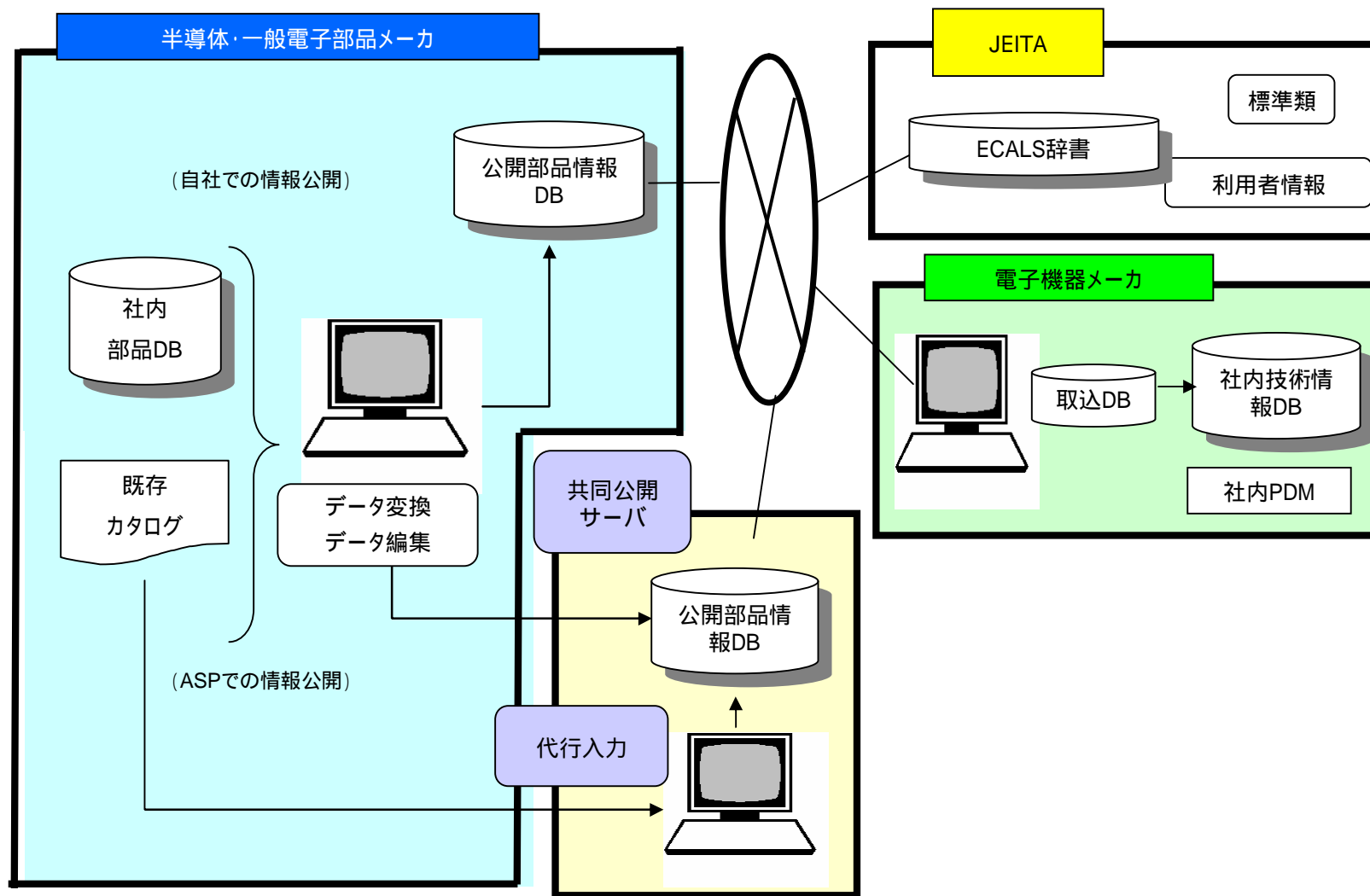
E C A L S システムの特長

E C A L S システムは、電子デバイス・電子部品のカatalog情報を、半導体・一般電子部品メーカーがE C A L S 辞書標準に準拠したコンピュータ可読な電子データ形式に編集してインターネットに公開し、電子機器メーカーが部品の検索や自社P D Mの構築に活用するためのシステムです。

< 特長 >

- インターネット技術を利用した分散システム・分散D Bで構成されています。
- 部品Catalog情報は提供部品メーカー各社がそれぞれ保管可能です。
- 部品メーカーの規模を問わず同じ条件で情報提供が可能です。
- 検索条件に合致した複数企業の製品仕様情報を表示することが可能です。
- 検索結果からさらに詳細を知りたい場合は添付されているCatalogも参照することが可能です。
- 検索結果の製品情報には環境情報へのリンクが付加されていますので環境情報も容易に参照することが可能です。

ECALSシステムの構成



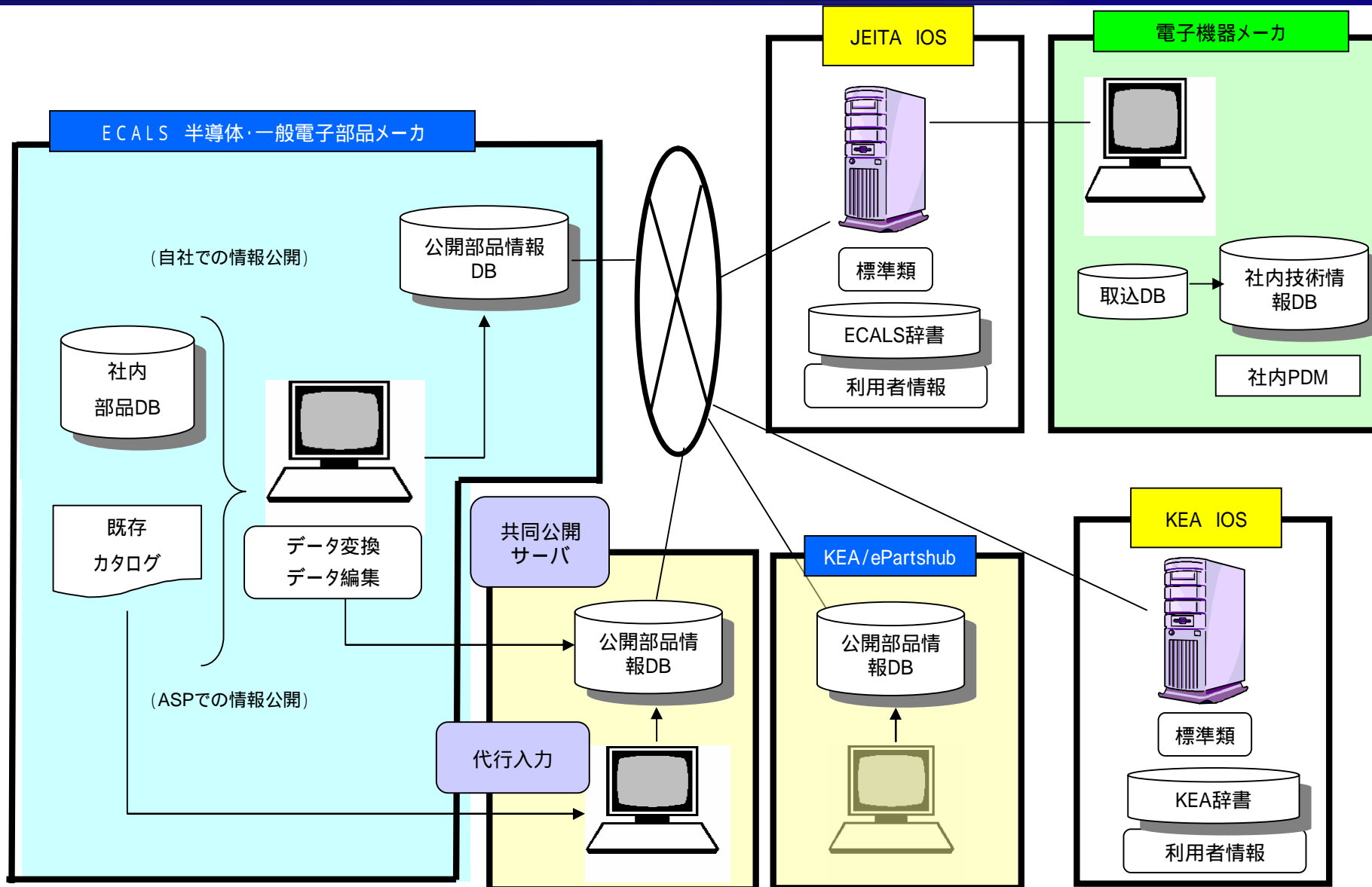
日韓電子部品情報相互検索システムの特長

日韓における電子デバイスや電子部品のカタログ相互検索機能を実現しました。日本側コンテンツであるJEITA / ECALS情報と韓国側コンテンツであるKEA / ePartshub情報を同時に検索して同一画面内に結果表示させる機能です。本システムはIOS (Interoperability System)と呼ばれています

< 特長 >

- 日韓のコンテンツを同時に検索します。
- 一覧表示は日韓のコンテンツを複数同時表示するため部品情報の詳細な比較が可能です。
- 部品情報に付加した環境情報は海外からも閲覧されます。

IOSシステムの構成



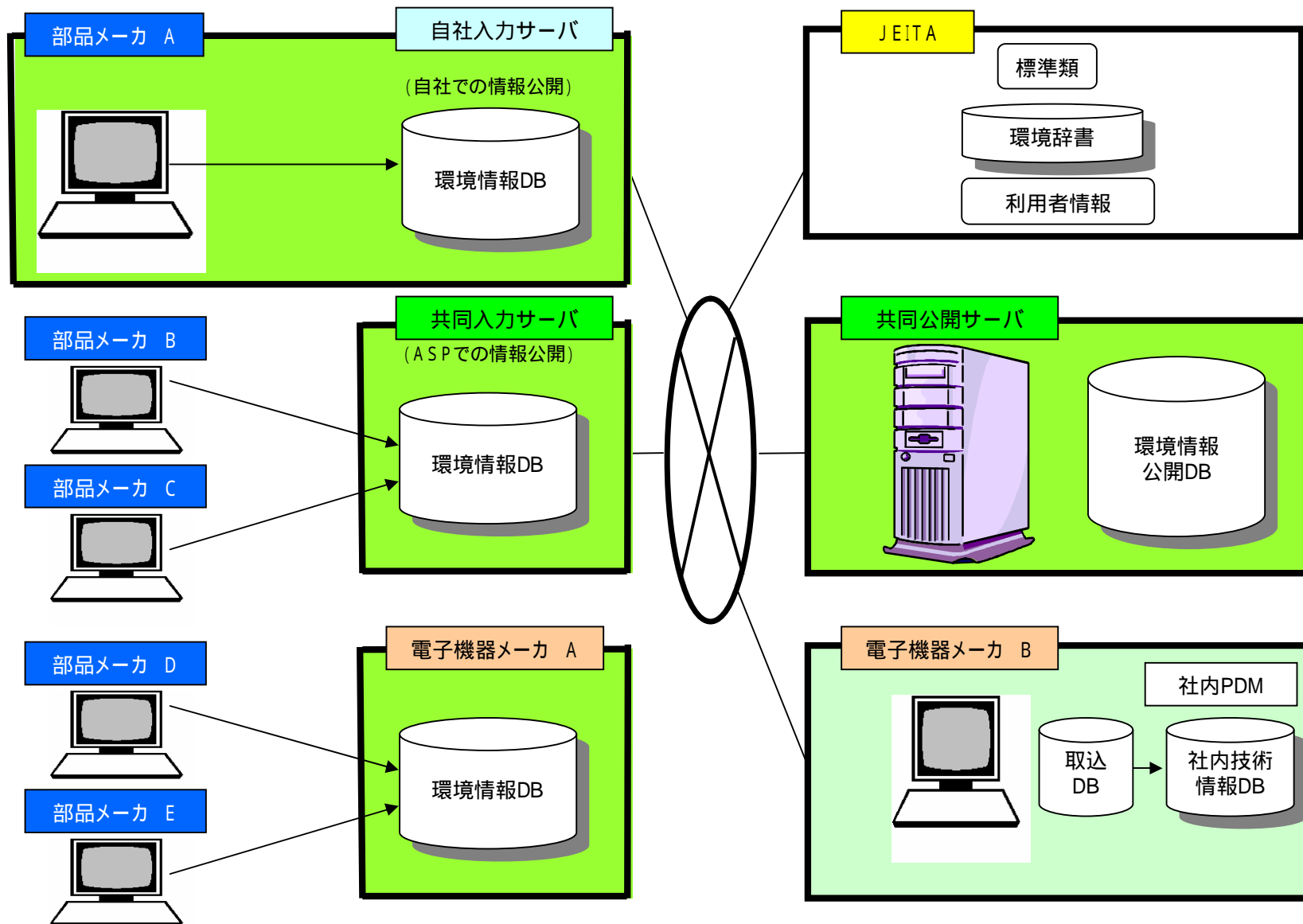
JEITA - Greenシステムの特長

JEITA - Greenシステムは、電子機器のライフサイクル全般において、その川上産業である電子部品メーカーと川下であるセットメーカー間において、環境情報流通を推進せしめることを目的に環境情報を円滑に行うためのビジネスフレーム構築と交換される情報内容・形式の標準化およびそれを実装したシステムです。

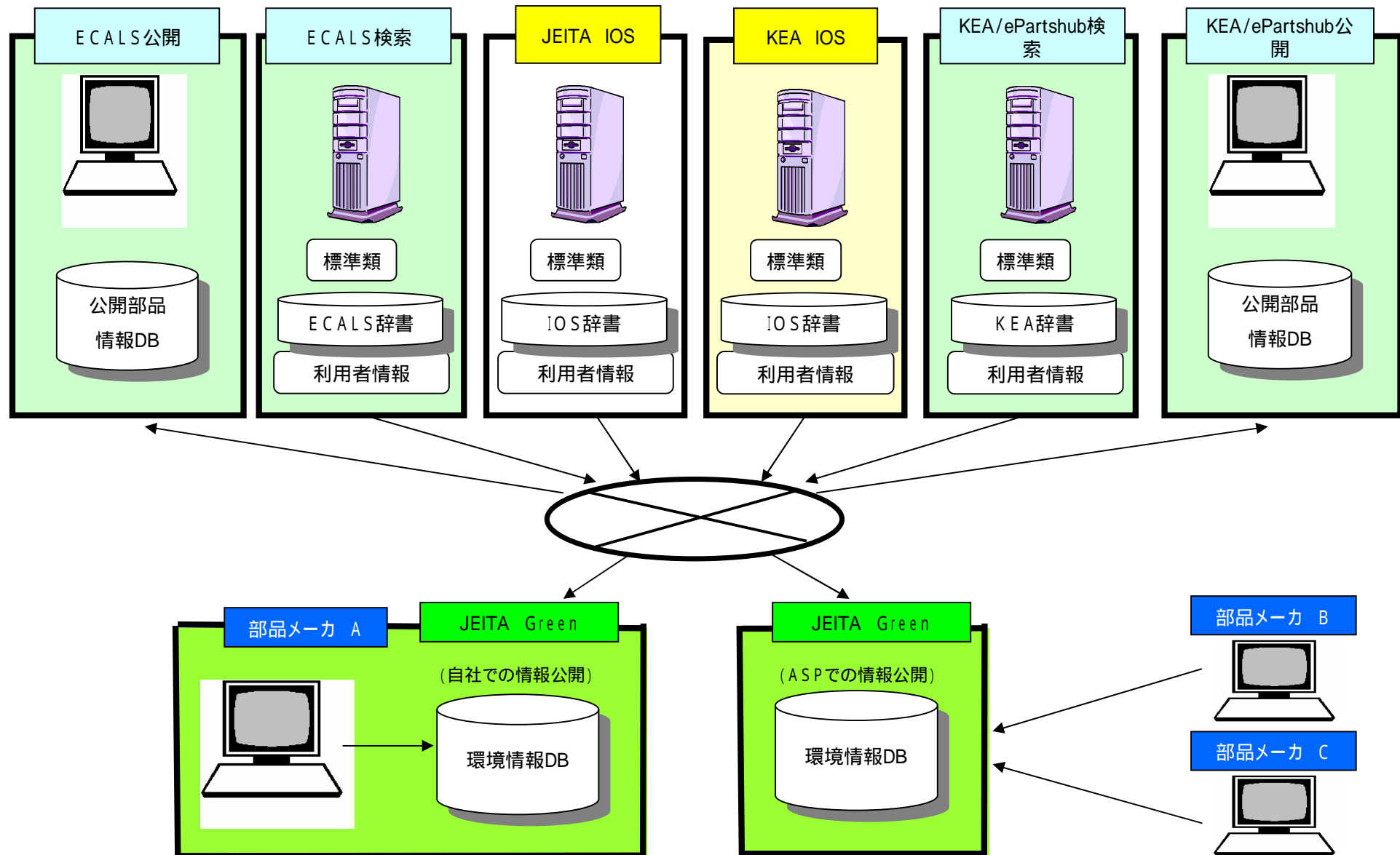
< 特長 >

- 環境情報は業界、業際、国際を視野にいれJGPSIフォーマットおよび今後の拡張性も考慮しECALGAフォーマットの2種類とした。
- 入力システムは中規模、大手部品メーカー向けの自社入力、公開サーバと中小規模部品メーカー向けの共同入力、公開サーバさらに機器メーカーが取引先にデータ入力してもらうセット側サーバ型の3種類があります。
- 環境情報はECALS検索システムからの検索が可能です。製品品番が判っている場合はJEITA-Greenシステムからの検索も可能です。

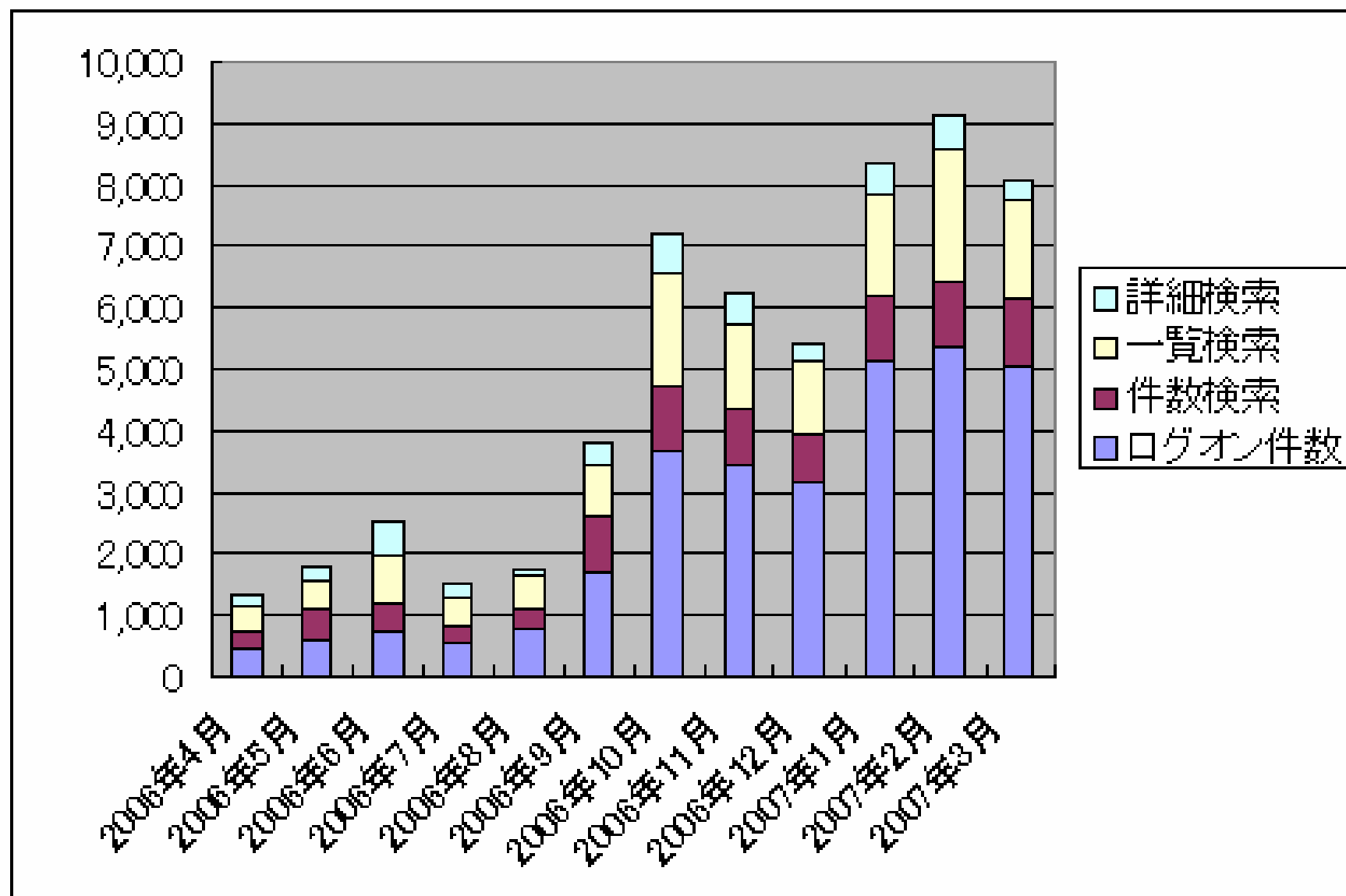
JEITA - Greenシステムの構成



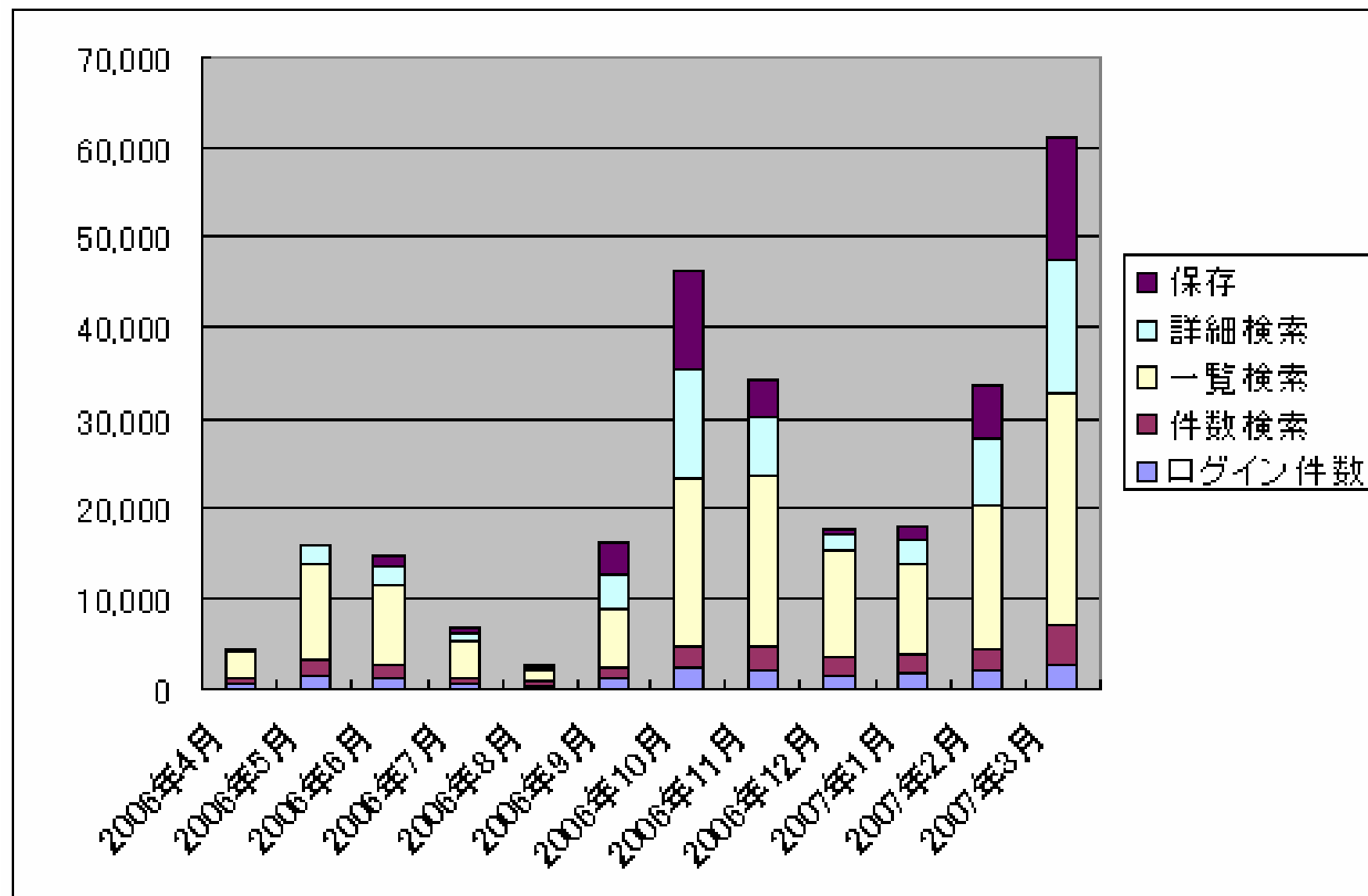
ECALS IOS JEITA-Greenの関連



E C A L S 共同検索システム利用状況



JEITA-Green公開システム利用状況



実演をご覧ください